

Title	永田氏を悼みて
Author(s)	寺部, 君子
Citation	懐徳. 1927, 6, p. 92-92
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/88765">https://hdl.handle.net/11094/88765</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## 永田氏を悼みて

寺部君子

この堂にあらむるぎりはどこしへに

きみを徳とし君をしのはむ

## 松山先生を憶ふ

飯島溜三郎

松山先生に十年間も教を受けましたが、生來魯鈍の質、別段とり分けて特筆すべき材料を有ちませぬが、唯二三感じた点を述べて見ます。

先生の謹嚴な態度は、純粹な講義振りと相待つ

て特によかつたです。是は敢て私一人の言ではなからう、恐らく聴講者一般の體驗せられたことだろうと思ふ。従つて私共は先生即ち經典であり、經典即ち先生であると感せられて、心から